

## あとがき

メルヘン。ドイツ語でおとぎ話。大人が忘れてしまった不思議な世界。

ここに広がるのは、皆さんだからこそつくることのできた世界です。どの作品にも、その年齢だからこそ書けるみずみずしい感性があります。そして、毎年のことながら、皆さんの何かを生み出そうとするエネルギーの強さには感心させられます。書くことに対する喜びや情熱が、皆さんの心の中にふつつつとわき上がっているのが、力強く伝わってきます。子どもたちの活字離れやゲーム漬けの問題がよく取りざたされますが、一方で皆さんのような人たちがいることは、大変心強く感じられます。

物語を書くには、善を好み、悪を憎むという、大変人間らしい、素直な心の働きがなければなりません。そして、それが、人の喜びや悲しみ、苦しみを自分のことのように感じるやさしい心と、空想する力の助けとを得て、物語となってこの世に姿を現すのでしょう。これらの作品を書いた皆さんの心の中に、このような正義を愛する心ややさしさ、創造力が息づいていることを、とても頼もしく思います。両市子どもたちがこのリレーメルヘンを読むことで、さらに心やさしく、勇気に満ちた人になってくれることを心から願っています。

最後になりましたが、このように素晴らしいリレーメルヘンの完成に関わって下さった両市図書館の皆様と各学校の先生方に、心からお礼を申し上げます。

敦賀市小学校教育研究会学校図書館部長 橋谷 順平

## 夢育む「メルヘン学校」

今年は敦賀市の小学生が前半を書き、各務原市の小学生たちが後半をつないで、このすてきなリレーメルヘンが出来上がりました。

敦賀市と各務原市子ども達による夢のリレーは、今まで八年間も続いてきました。これこそ、夢のあるすてきなお話ではないでしょうか。では、私が味わわせていただいたリレーメルヘンの「すてき」についてお話しします。

まずは、自由自在に駆けめぐる想像力のすばらしさです。作品の登場人物（作者である子ども達自身）は、場所も時間も自在に行き来します。夢の中かと思えば学校の休み時間、友達の家で遊んでいたと思ったら宇宙のはての国。過去へも行けるし、魔法の国にもあつという間につながります。ファンタジーあふれるメルヘンの世界の中で、子ども達の夢は無限の広がりを見せてくれています。

そして、何といたってもすてきなことは、リレーメルヘンを通じて両市子ども達が実際に出会い、友達になることです。昨年度、敦賀市で行われた交流会に、各務原市子ども達と一緒に参加をさせていただきました。作品のリレーをした両市の作者達が顔を合わせ、作品について話し合いました。すぐに打ち解けて、同じ学校の仲間のようにした。交流会場が一つの学校、名付けて「メルヘン小学校」の誕生でした。

最後に、今年も「リレーメルヘン」が完成できたのは、両市の市立図書館の皆様や各

学校の先生方のご指導と熱意のおかげであり、心から感謝を申し上げます。このすてきな企画は、両市の友好の架け橋であり、両市の子ども達の夢を育む学校です。本企画が、今後もますます発展することを願っております。

各務原市立鵜沼第一小学校長 清水 孝子

## あとがき

平成十四年に、各務原市と敦賀市との友好の架け橋として企画され、両市の小学生のあいだでリレー式に創作されたおはなしが「リレーメルヘン」として一冊にまとめられました。第八集目の発行となります。

今年は、敦賀市の小学生から各務原市の小学生にリレーされ、十八の作品が誕生しました。

どの作品を読んでも、皆さんの感性と想像力の豊かさに感心します。皆さんの心の中にある優しさや思いやりがそのまま表れている作品ばかりです。

この「リレーメルヘン」を通して、各務原市と敦賀市の子どもたちの友好の輪が、今後、ますます大きく広がることを願っています。

最後になりましたが、このように、すばらしい作品を書いてくださった小学生の皆さん、そして、「リレーメルヘン」発行に携わってくださった関係者の皆様に心からお礼申しあげます。

敦賀市立図書館長 中川 正治

## 発行によせて

リレーメルヘン……。本が大好き、作文が大好きな子どもたちがチャレンジしてくれたのではないのでしょうか。一つひとつの作品には、作者の豊かな感性や想像力、未来への夢がいっぱい詰まっているように思います。

作品集の完成に合わせて、敦賀市と各務原市の「作家」たちの出会いがあります。今年は、敦賀市のみなさんを各務原市にお迎えします。世界にたった一つの物語をつくってくれた子どもたちの交流はすばらしい思い出になると思いますし、お互いのまちを知り合い、ますます交流が深まることを願っています。

作品集の発行にあたり、作者のみなさん、お世話いただいた両市小学校の先生方や敦賀市立図書館の皆さま、表紙・挿絵を担当していただいた栗屋系央莉さんに心から感謝いたします。

各務原市立中央図書館長 浅井 修三